

# 個人投資家様向け会社説明会

株式会社インベストメントブリッジ主催

2009年4月25日(土)

## シーシーエス株式会社

(ジャスダック 証券コード6669)

# 目次

1. 企業概要
2. 主力事業のビジネスモデル
3. 当社の事業展開
4. 2009年7月期第2四半期連結決算  
概況と通期計画
5. 中長期ビジョン
6. 株主還元の考え方

# 企業概要

# シーシーエスの企業理念 光を科学し、社会に貢献する

Creative Customer Satisfaction  
クリエイティブ カスタマー サティスファクション

お客様の満足を高めるための技術と  
製品をひたむきに追求し、  
企業活動を通じて社会の役に立ちたい

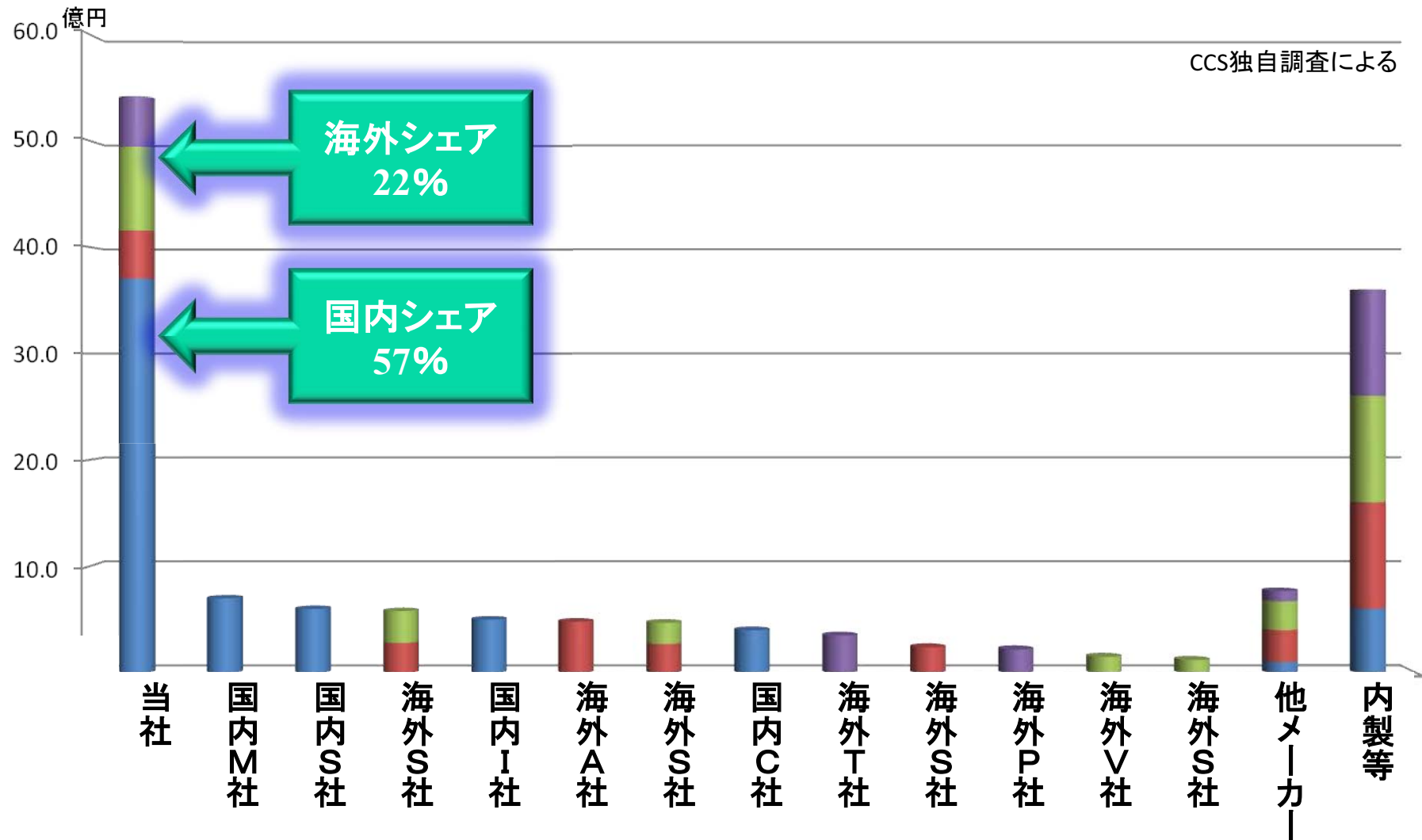
# 沿革

- 1992 創業
- 1993 シーシーエス株式会社設立
- 1994 画像処理用LED照明事業に特化
- 1999 CCS America Inc. (100%子会社) を設立 (ボストン)
- 2000 東京営業所を開設 (品川区高輪台)
- 2001 本社移転 (現在の本社)
- 2003 上海事務所を開設 (中国 上海市)
- 2004 CCSロジスティックセンターを開設 (京都市伏見区)  
ジャスダックに上場  
RDV(S)PTE LTD社を子会社化 (シンガポール)  
CCS Europe NV (100%子会社) を設立 (ベルギー)
- 2005 植物育成実験プラントを稼動 (千葉県野田市)  
名古屋テストングルームを開設 (名古屋市西区)
- 2007 東京営業所を拡充 (8階増床)  
生産拠点と物流拠点を統合し、生産センターを開設 (京都市下京区)  
植物育成実験プラントを譲渡  
仙台テストングルームを開設 (宮城県仙台市青葉区)
- 2008 LED光源による省エネ型植物工場の共同研究 (フェアリーエンジェル社を連結子会社化)
- 2009 Singaporeの子会社をCCS Asia PTE LTD. へ商号変更

## 参考資料：LED開発の歩み

1962年代	赤色と黄緑色が開発
1970年代	赤色と黄緑色が実用化
1993年	青色が製品化
1995年	純緑色の開発
	光の三原色がそろそろ
1996年	白色が開発
現在	発光効率の向上 高演色性白色の開発

# 当社のポジショニング (LED光源・制御装置・オプション)



# シーシーエスのコーポレートステートメント

## 人と地球にやさしい世界企業を目指す

当社は既存分野にとどまらず、様々な分野で  
人にやさしく、地球環境にやさしい  
光ビジネスを展開・拡大していきます。

新規  
事業

バイオ・アグリ分野  
メディカル分野  
目視・顕微鏡分野  
民生・商業分野

主力  
事業

マシンビジョン照明事業  
(画像処理用LED照明)



# 主力事業のビジネスモデル

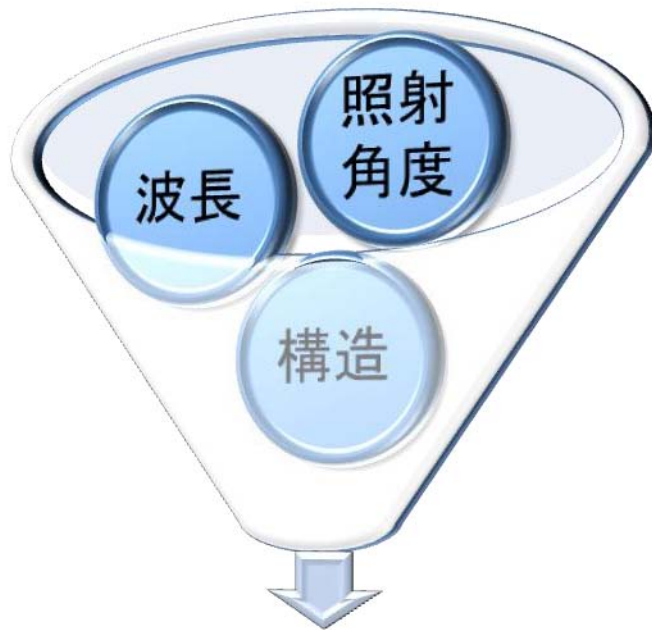
(マシンビジョン照明事業)



# マシンビジョン照明の市場とニーズ



# シーシーエスのライティング・ソリューション



光の性質による、  
“光を当てる方法”

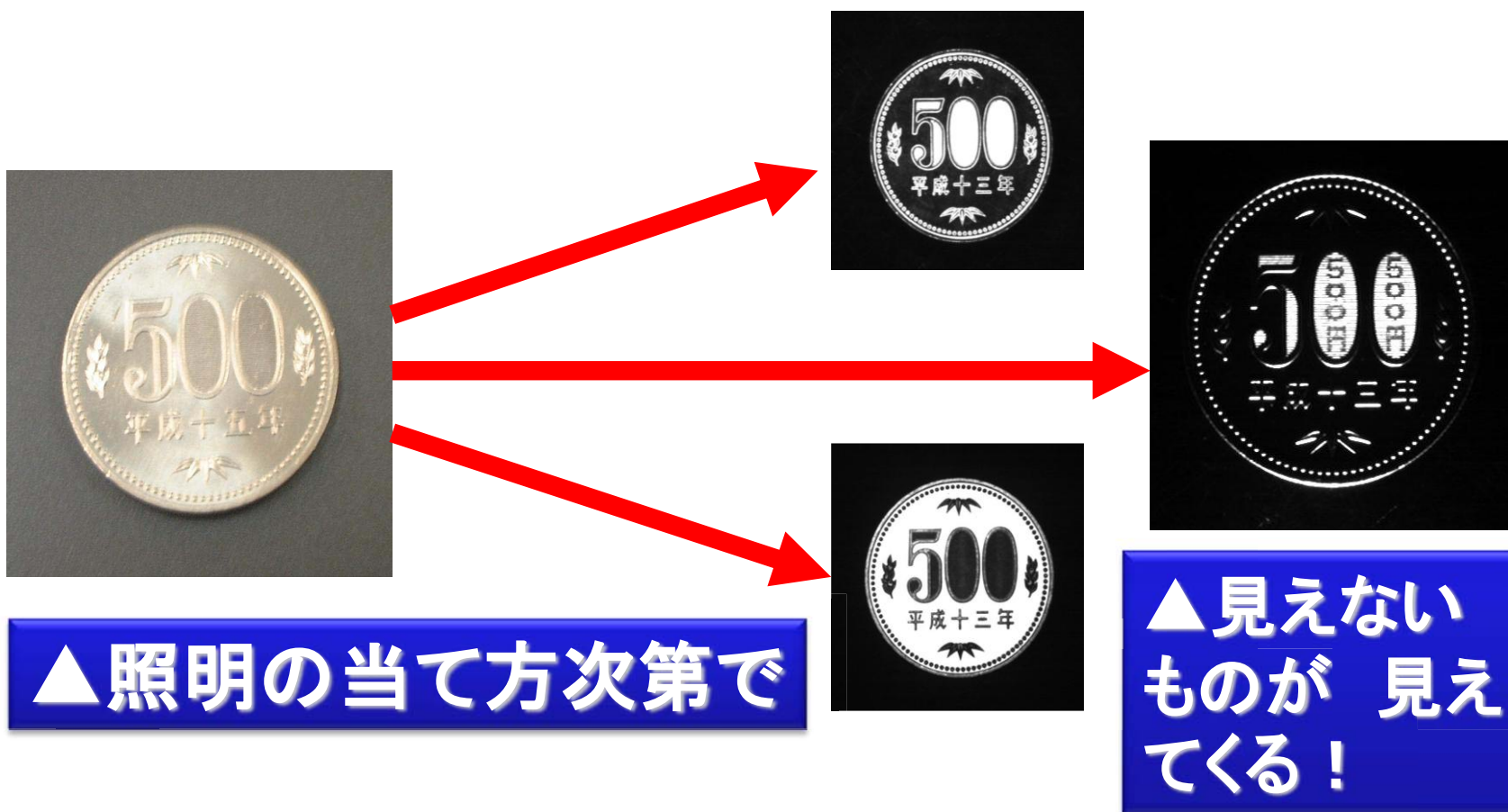
他の光源では実現  
できないことを可能  
にする。

画像処理検査の  
可能性と安定性を  
飛躍的に向上。

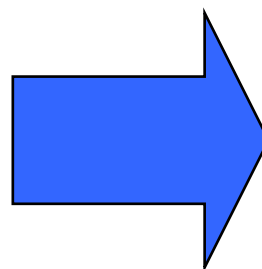


CCSの最大の強み

# “光を当てる方向”（照射角度）を変えると見え方が変わる



# “特定の色の光”（波長） を変えると見え方が変わる



※使用したサンプルワークは当社にて加工したものであり、  
本来の品質・性能によるものではありません。

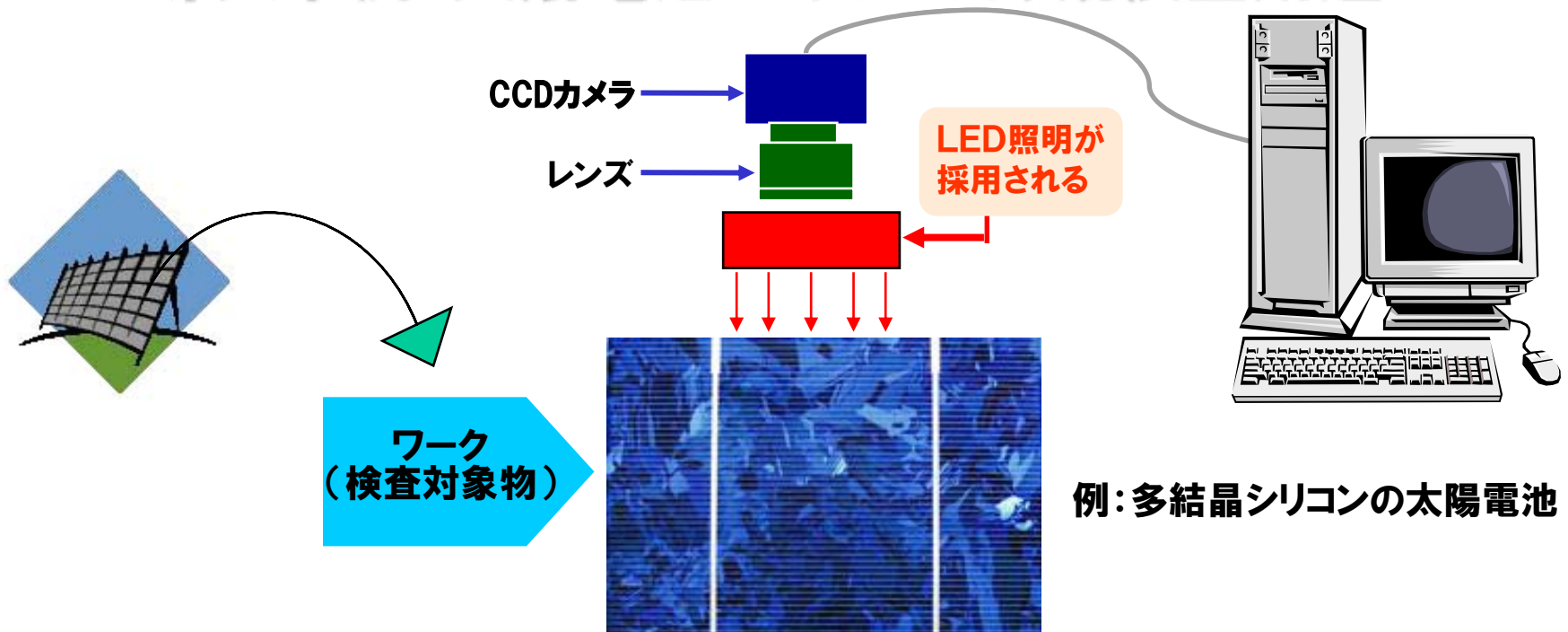
**撮像実験をご覧ください**

# 当社の事業展開

注カポイント①

急成長の太陽電池と  
リチウムイオン電池向けを狙う

# 導入事例：太陽電池パネルの外観検査用途



太陽電池パネルの設置  
に関する優遇政策

太陽電池の設備投資  
が増加

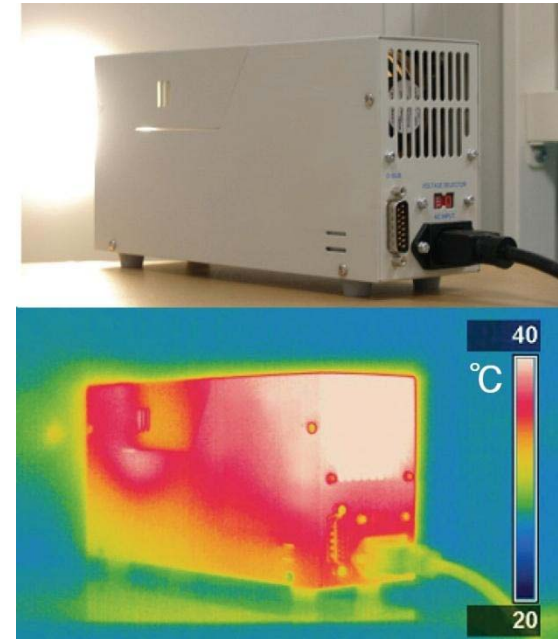
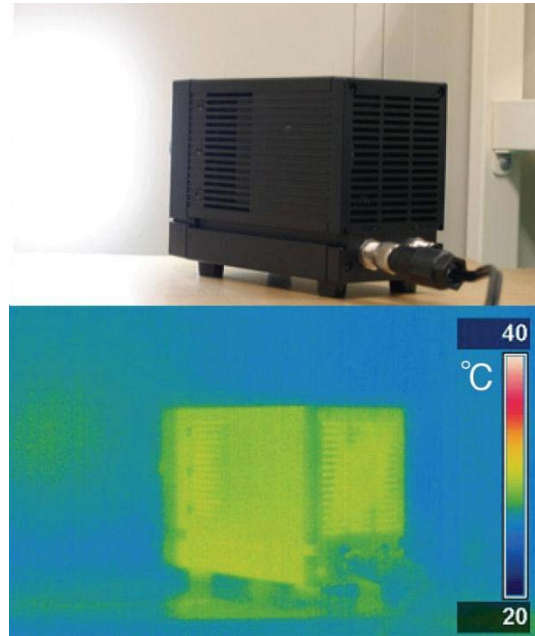
電子機器の高性能化、  
多機能化

リチウムイオン電池  
の設備投資が順調



注カポイント②  
ハロゲン置換えによる  
環境提案に注カ

# LED光源ボックス(ハロゲン光源との比較)①



低消費電力

周囲温度の低減(空調費用の削減)

CO2排出量の削減(地球温暖化防止)

20Wの低消費電力

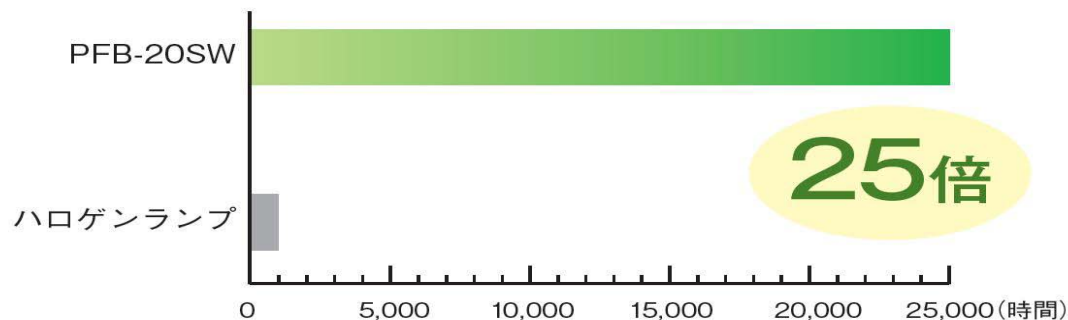
● PFB-20SW-Fと100Wハロゲンの消費電力比較



# LED光源ボックス(ハロゲン光源との比較)②

## 寿命

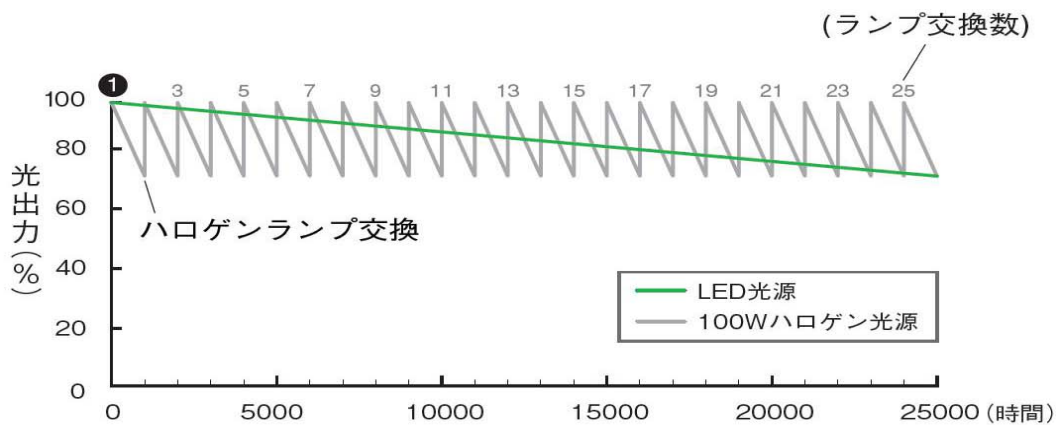
● PFB-20SWとハロゲンランプの寿命比較



※ 調光100%、周囲温度25℃、光出力70%低下までの計算値。(保証値ではありません)

長期にわたって  
メンテナンスフリー

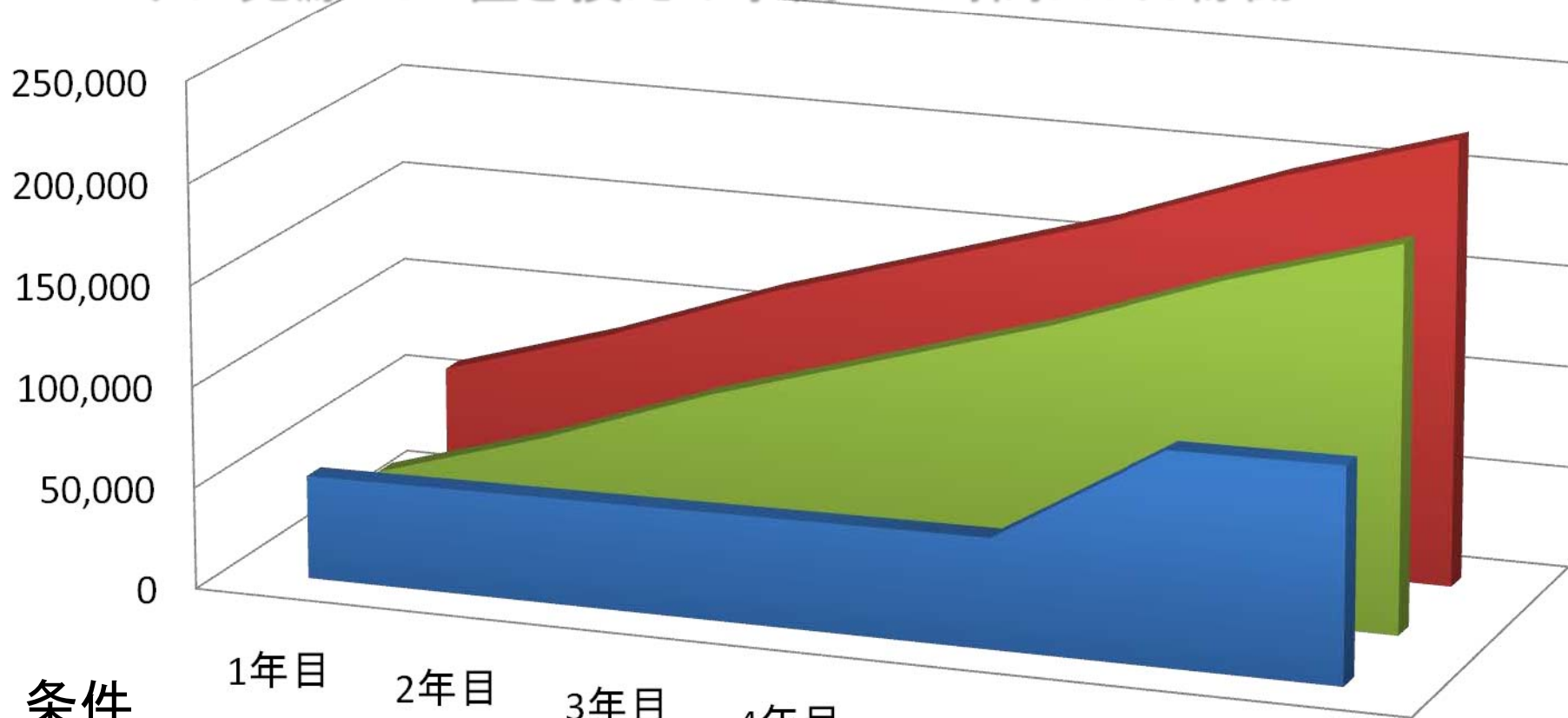
## ランプ交換工数



※ ハロゲンランプを1,000時間おきに取り替えた場合と、LED光源の寿命までの光量変化をイメージにて比較。

廃棄物を低減

# ハロゲン光源BOX置き換えの事例 12時間365日稼働



条件

電気代: 10円/Kwh

ハロゲン球: 4,800円

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
■ PFB-20W	50,920	51,840	52,759	53,679	54,599	105,519	106,439
■ 他社製ハロゲン(既設)	30,001	55,201	85,202	110,402	135,603	165,604	190,804
■ 他社製ハロゲン(新設)	60,001	85,201	115,202	140,402	165,603	195,604	220,804

注力ポイント③

自然光LED搭載商品の展開

# 業界初 自然光LED照明を発売

## 特徴

- ①目にやさしい
- ②太陽光に近い色を再現  
～業界No.1の演色性～

従来の  
白色  
LED

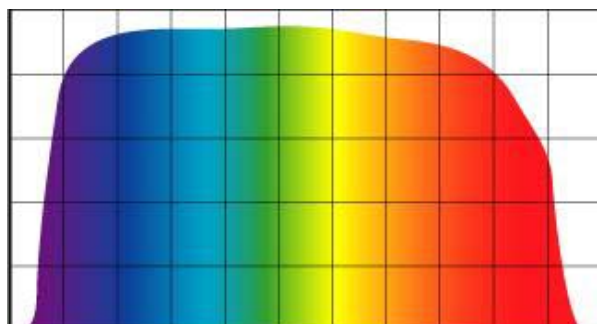


自然  
光  
LED

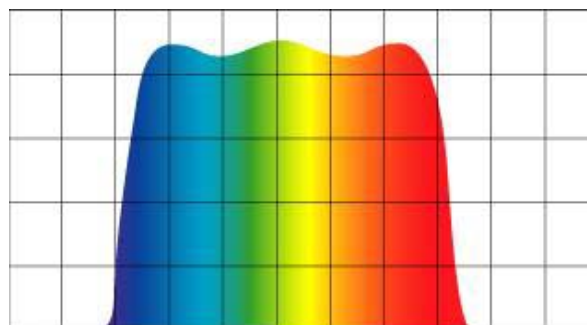


自然光CNR  
(2009年3月発売)

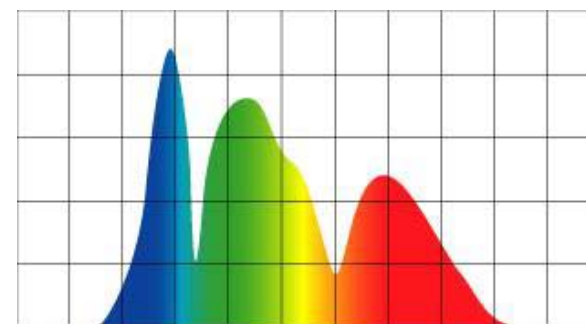
# 自然光LEDとは



太陽光 (Ra=100)



CCS自然光LED (Ra=98)

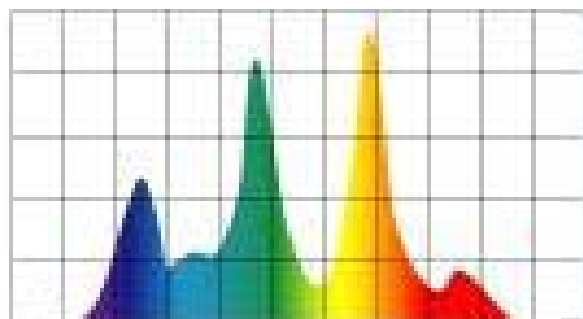


他社の演色LED (Ra=92)

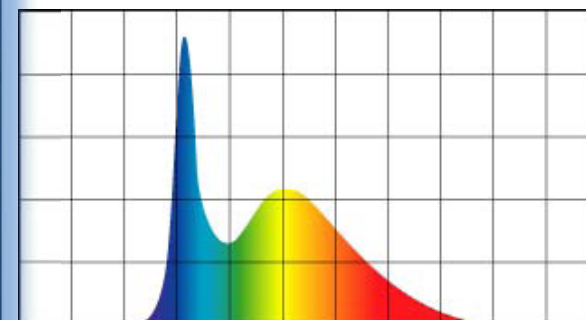
## 自然光LEDの特徴

本来の色を再現  
(世界最高の演色性)

目にやさしい  
(紫外光および赤外光以外の  
全ての色の波長がバラン  
スよく出ている)



3波長蛍光灯 (Ra=70)



従来の白色LED (Ra=70)

# 自然光LEDのマーケットをつくる

当社がねらう用途

自然光LEDを用いると  
こんなメリットがあります

顕微鏡・目視検査用



目にやさしい、演色性が高い

医療用



正確に観察することができる

店舗用

(百貨店の化粧品売場、花屋、  
ブランドショップなど)



太陽光の下での色味を確認  
できる

美術館、博物館などの  
芸術品・重要文化財



作品を傷めない  
本来の色味を鑑賞できる



注力ポイント④  
民生・商業用照明の展開

自然光LED照明で民生・商業用照明市場に参入

# 店舗内の照明を全てLED化 (1/4)

## 特徴1 店舗内の全ての照明をLED化

- シーシーエスの民生用LED照明のモデル店舗とする
- 2009年中の販売を目指す



2008年12月から連結子会社となった(株)フェアリーエンジェルの  
野菜レストラン「天使のカフェ なぎさ公園店」(滋賀県)  
【延床面積: 129㎡(39坪) / 2F建 / 客席数: 41席】

自然光LED照明で民生・商業用照明市場に参入

# 店舗内の照明を全てLED化 (2/4)

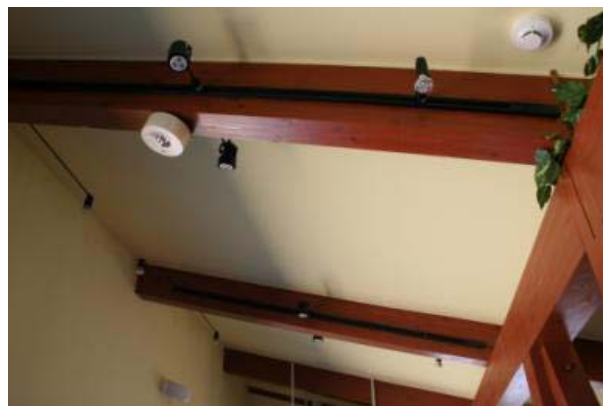
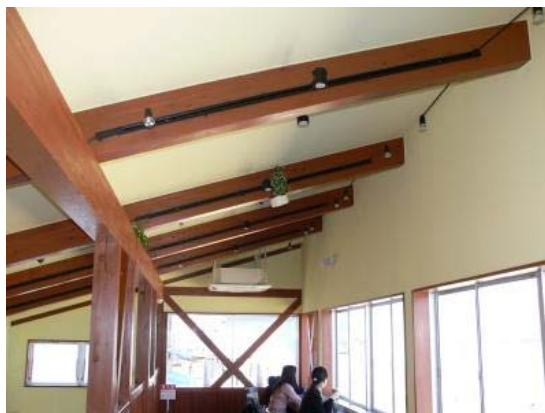
## 特徴2 厨房内、ショーケースの照明は自然光LEDを採用

- 食材の本来の色が分かるため、鮮度が分かりやすい
- 発熱しないため、野菜を傷めない



## 特徴3 場所に応じて「光の当て方」を工夫

- シーシーエスの主力事業で15年間培ってきた「ライティング・ソリューション」を用いて照明を設置



# 店舗内の照明を全てLED化 (3/4)

## LED照明を店舗用途で導入するメリットは？

LEDの特長	店舗におけるメリット	関連する最近の動き
①低消費電力である ダイクロハロゲン球の10分の1	<ul style="list-style-type: none"><li>・電力コストを削減できる</li><li>・CO<sub>2</sub>排出量削減に貢献する店舗としてアピールできる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 世界各地で白熱電球を廃止する動きが広がっている(2012年に製造中止となる)</li></ul>
②発熱が少ない	<ul style="list-style-type: none"><li>・空調の電力コストが少なくて済む</li><li>・ショーケース内の食品を傷めることなく新鮮さを保つことができる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>□ CO<sub>2</sub>削減義務を条例化(大規模事業所などを対象として、2010年4月から削減義務が課せられる)</li></ul>

# 店舗内の照明を全てLED化（4／4）

## LED照明を店舗用途で導入するメリットは？

LEDの特長	店舗におけるメリット	関連する最近の動き
③長寿命である ダイクロハロゲン球の10倍以上	・数年間ランプ交換をしなくて済む	
④有害物質を含まない	・破損時において水銀のような有害物質が飛散しない	□ 水銀を含む蛍光灯に関しても製造が規制される可能性がある（米国は2020年に蛍光灯を廃止するとされている）
⑤【自然光LEDを導入した場合】太陽光の下で見た時と同様に本来の色を再現できる	・ショーケースの食品を購入する際、本来の色合いを見て選ぶことができる ・厨房内では食材の鮮度を見る際にわかりやすい	□ 食品の安全性や質感への意識が高まっている

京都の伝統技術とハイテク技術を融合

# LEDゆらぎ照明

**コラボ1** 京和傘・日吉屋(京都市上京区)



国際ホテル・レストランショー  
(2009/2/24~27、東京ビッグサイト)

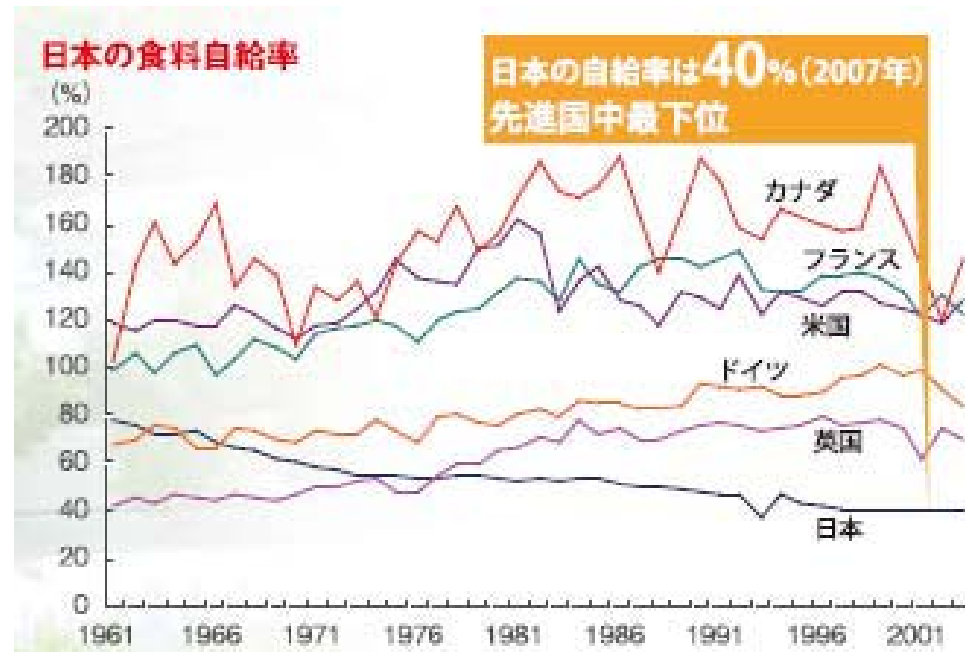
**コラボ2** 和紙・型絵染工房(京都市右京区)



注カポイント⑤  
植物育成プラント事業へ参画

# 農業を取り巻く環境 (1/3)

- ・日本の食料自給率は40%・輸入割合が高い
- ・世界的な気象変動や経済情勢に左右され、食料危機へ  
⇒安定的な食料の確保が課題である

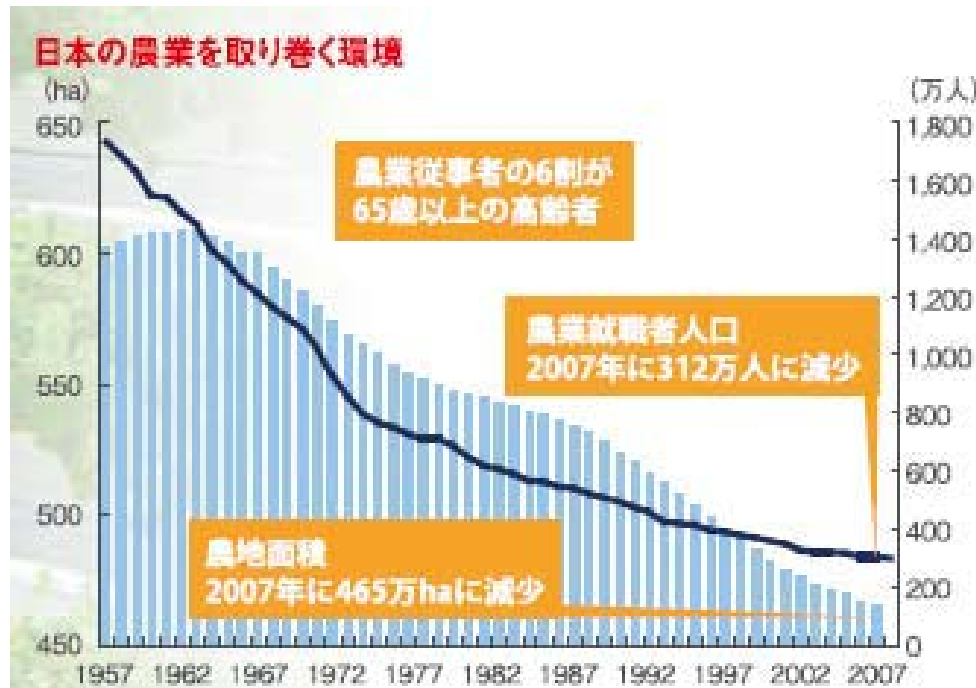


(農林水産省および総務省データより作成)



# 農業を取り巻く環境 (2/3)

・農地面積が減少し、農業従事者が高齢化  
⇒解決策として植物工場に期待が寄せられている



(農林水産省および総務省データより作成)

## 植物工場のメリット

単位面積当たりの生産量が高い

季節や天候に左右されず年中収穫できる

都市郊外を問わず建設できる

快適な環境で働くことができる

等

# 農業を取り巻く環境（3／3）

## 経済産業省と農林水産省による 植物工場の普及促進の動き

2009年1月にワーキンググループを発足  
⇒2009年4月末をめぐりに方針決定へ

- ・助成金の支給を2010年度から開始  
ノウハウ確立のための関連テーマの研究開発費用や  
電力・水道料金の一部助成など3割のコスト削減を支援



植物工場を現在の50カ所から  
150カ所へ（3年間で3倍）の増設を目指す

# 当社がこれまで進めてきた研究

## LEDと植物の関係についての研究

赤色LEDと青色LED  
による育成研究



実験を始めた当時  
＜2000年＞

研究所レベルで  
野菜の特性の測定



研究室および自社の  
実験プラントでの実験  
＜2005年＞



大規模植物工場(エンジェ  
ルフーム福井)での実験  
＜現在:2009年＞

蛍光灯からLEDへ置換え  
(味、栄養価、コスト面の調整)

# 共同研究と今後の方向性

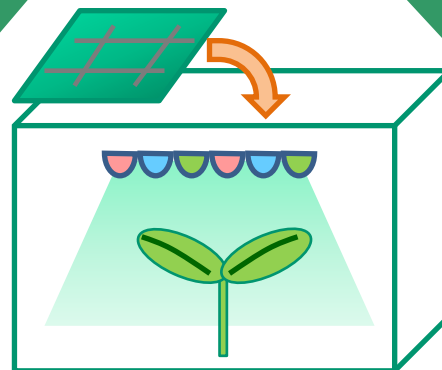


太陽電池を使った  
野菜工場の共同研究

三菱化学が  
フェアリーエンジェルへ  
2008年6月に  
出資

三菱化学  
太陽電池の技術

フェアリーエンジェル  
栽培とプラント技術



LEDによる植物育成  
共同研究

シーシーエスが  
フェアリーエンジェルへ  
2008年12月に出資  
連結子会社化

シーシーエス  
LEDによる  
植物育成技術

2008年2月から  
LEDで実験本格スタート

# 植物工場の将来展望

安全

安心

安定

低環境負荷

効率的

高機能

安価

社会システムの進展

- ・地産地消
- ・トレーサビリティ



エネルギー・資源循環型植物工場

- ・高度化
- ・省エネ化

目的別栽培

- ・特定栄養価増強
- ・促成、出荷時期調整

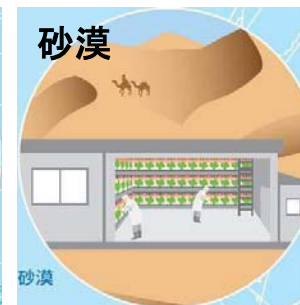
- ・大規模化
- ・グローバル化

多品種対応

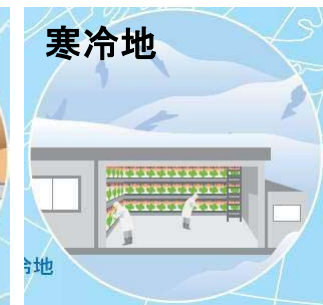
- ・種苗生産
- ・果菜類生産
- ・穀物生産
- ・花き生産
- ・GM植物生産



都市の地下



砂漠



寒冷地

# 2009年7月期第2四半期連結 概況と通期計画

# 第2四半期業績(連結)

(単位:百万円) ( )内:対売上比

	2008/7 上期	2009/7 上期	変動
	実績 [A]	実績 [B]	前期比[C] [B] - [A] [B] / [A]
売上高	2,723	1,984	-739( 73%)
国内(工業用)	1,821(66.9%)	1,437(72.4%)	-384( 79%)
海外(工業用)	846(31.1%)	504(25.4%)	-342( 60%)
新規事業	56( 2.1%)	43( 2.2%)	-13( 77%)
売上総利益	1,783(65.5%)	1,254(63.2%)	-529( 70%)
販管費	1,368(50.2%)	1,426(71.9%)	58(104%)
営業利益	414(15.2%)	-172(-8.7%)	-586(-42%)
経常利益	401(14.7%)	-141(-7.1%)	-542(-35%)
当期純利益	261( 9.6%)	- 87(-4.4%)	-348(-33%)
研究開発費	211( 7.7%)	279(14.1%)	68(132%)
減価償却費	48( 1.8%)	51( 2.6%)	3(106%)
設備投資額	376(13.8%)	164( 8.3%)	-212( 44%)

## 【売上高】

- 電子・半導体、自動車関連分野向けの設備投資の抑制
- 太陽電池やリチウムイオン電池の検査用途は急成長

## 【販売費および一般管理費】

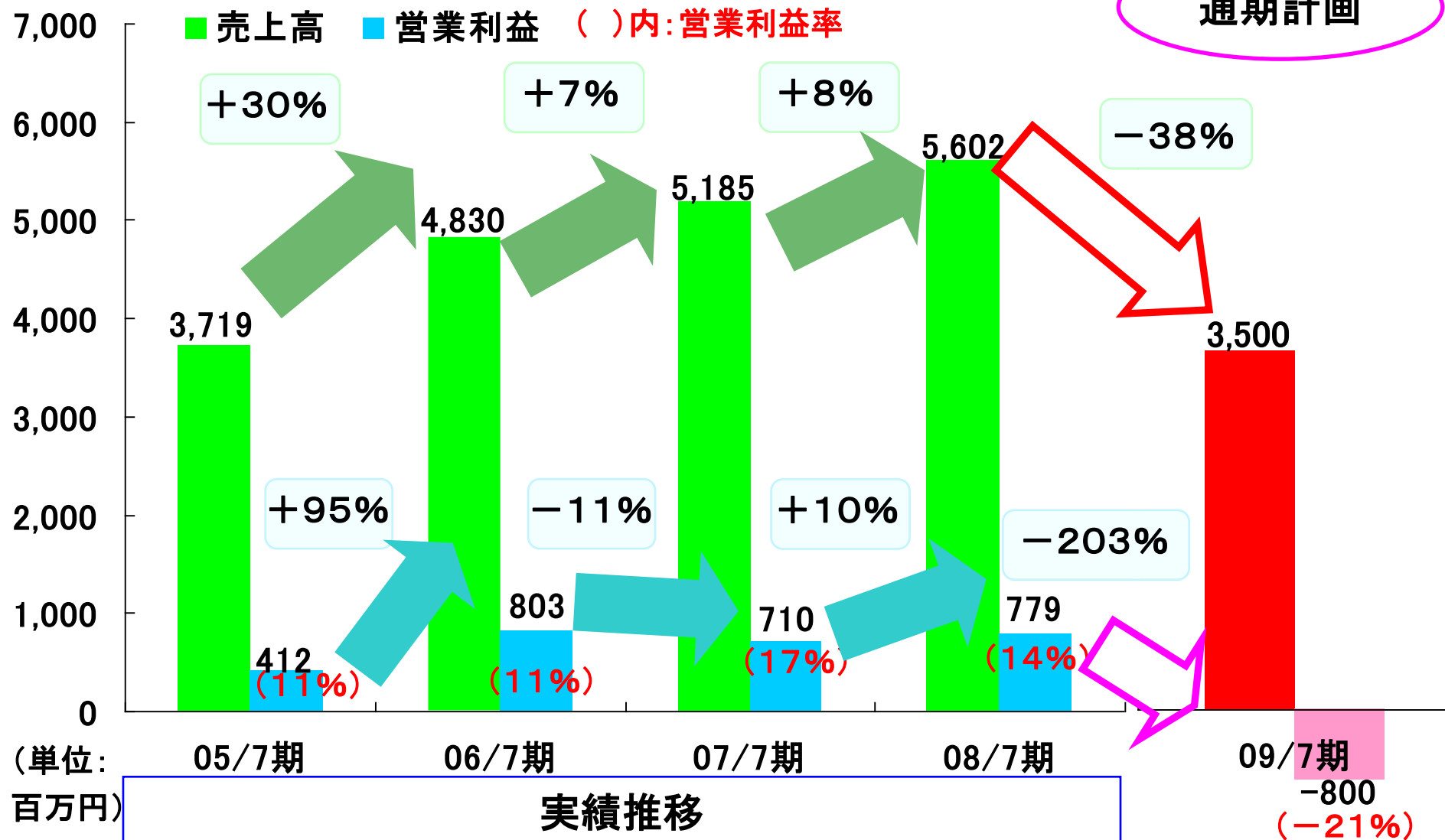
- 積極的な研究開発投資
- 効率化およびコスト削減

## 【営業利益】

- 販売費および一般管理費の増加により、売上高の減少分を吸収できず

# 売上高と営業利益の推移(連結)

通期計画





# 通期計画(連結)

(単位:百万円) ( )内:対売上比

	08/7・通期	09/7・通期計画			変動
	実績 [A]	シーシーエス (フェアリーエン ンジェル除く)	フェアリーエン ジェル 08年12月に 子会社化	合計 [B]	前期比[C] [B] - [A] [B] / [A]
売上高	5,602	3,320	180	3,500	-2,102 ( 62%)
国内(工業用)	3,747(66.9%)	2,240( 67.5%)	-	2,240(64.0%)	-1,507 ( 60%)
海外(工業用)	1,753(31.3%)	930( 28.0%)	-	930(26.6%)	-823 ( 53%)
新規事業	102( 1.8%)	150( 4.5%)	180( 100%)	330( 9.4%)	228 (324%)
売上総利益	3,597(64.2%)	2,060( 62.0%)	-60( -33.3%)	2,000(57.1%)	-1,597 (-103%)
販管費	2,817(50.3%)	2,610( 78.6%)	190( 105.6%)	2,800(80.0%)	-17 ( 99%)
営業利益	779(13.9%)	-550(-16.6%)	-250(-138.9%)	-800(-22.9%)	-1,579 (-103%)
経常利益	765(13.7%)	-530(-16.0%)	-260(-144.4%)	-790(-22.6%)	-1,555 (-103%)
当期純利益	501( 8.9%)	-337(-10.2%)	-63( -35.0%)	-400(-11.4%)	-901 ( -80%)
研究開発費	470( 8.4%)			574(16.4%)	104 ( 122%)
減価償却費	157( 2.8%)			205( 5.9%)	48 ( 131%)
設備投資額	517( 9.2%)			241( 6.9%)	-276 ( 47%)

# 中長期ビジョン

# 新たな光産業を創出し、光の世界企業を目指す

## バイオ・アグリ分野

- ・研究向け
- ・植物工場向け



## メディカル分野

- ・病院向け



**新規事業**

新たなマーケットの創造

### 主力事業

マシンビジョン照明事業  
(工業用LED照明)

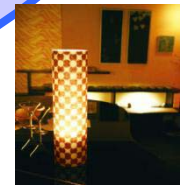
## 目視・顕微鏡分野

- ・工場向け
- ・研究所向け



## 民生・商業分野

- ・イベント向け
- ・店舗向け
- ・美術館・博物館向け



オリジナルLEDデバイス

新技術の確立

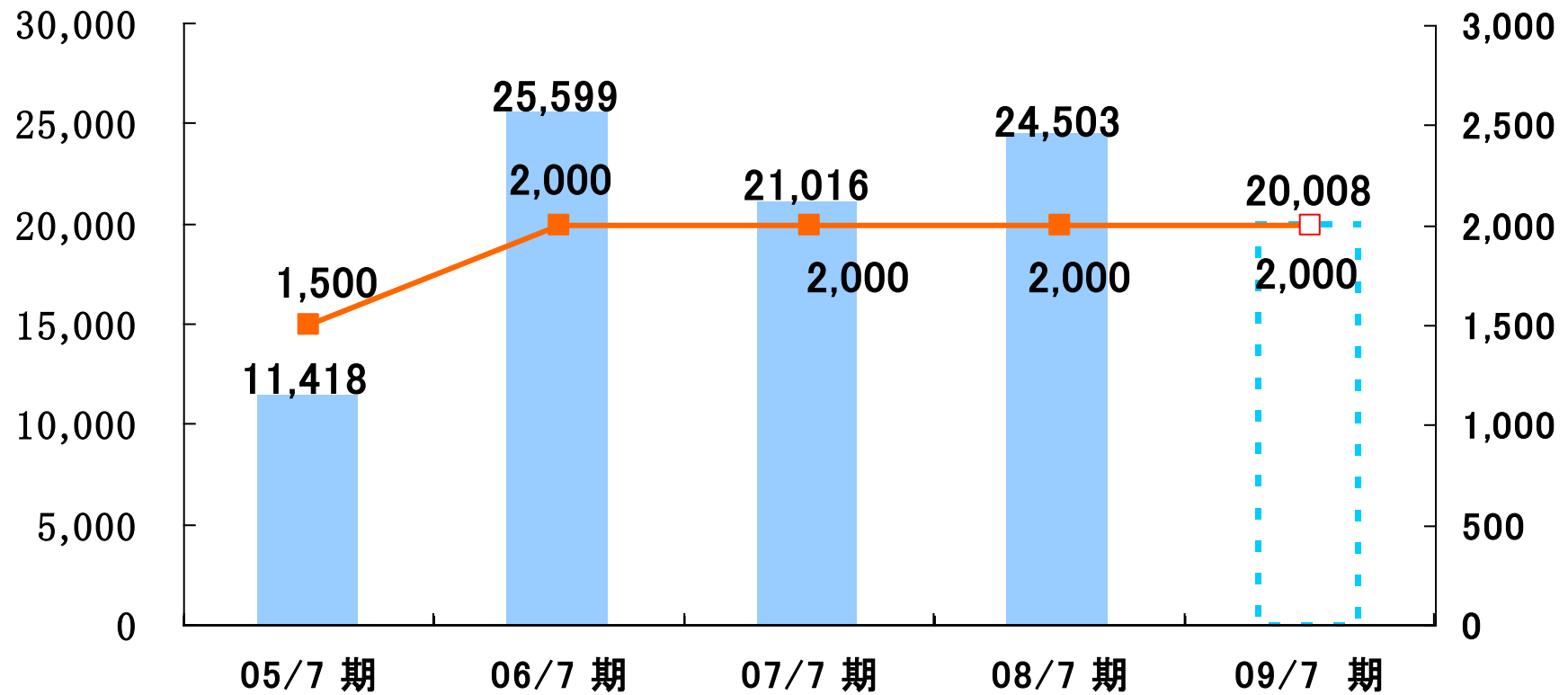
ライティングソリューション

コア技術の活用

# 株主様への還元について

# 安定配当と財務の強化

- 積極投資により将来のビジネスを確立
- 継続的に利益を確保・安定配当の実現
- 内部留保の充実と財務体質の強化を勘案して適切に配当



■ 1株当たり当期純利益(円)

—■— 1株当たり配当額(円)

《注意事項》 本説明会にて提供した情報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。

(ジャスダック、証券コード: 6669)

<http://www.ccs-inc.co.jp>

管理本部 情報企画部 広報IR課

TEL (075)415-8291

FAX(075)415-7724

京都市上京区烏丸通下立売上ル

桜鶴円町374番地

Copyright(C) CCS Inc. All Right Reserved.